

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公開番号】特開2004-325441(P2004-325441A)

【公開日】平成16年11月18日(2004.11.18)

【年通号数】公開・登録公報2004-045

【出願番号】特願2004-95067(P2004-95067)

【国際特許分類】

**G 01 N 27/42 (2006.01)**

**C 25 D 21/14 (2006.01)**

**G 01 N 27/48 (2006.01)**

【F I】

G 01 N	27/42	G
--------	-------	---

G 01 N	27/42	A
--------	-------	---

C 25 D	21/14	Z
--------	-------	---

G 01 N	27/48	A
--------	-------	---

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月28日(2007.3.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項9】

浴中の光沢剤の量を決定する方法であって、

a) それぞれ既知で、かつ異なる量の光沢剤を含む複数の浴を得(ここで各浴中の光沢剤の量は他の浴中<sup>の</sup>量とは異なる) ;

b) 各浴について、浴中に浸漬される対電極、洗浄された作用電極および参照電極を提供して、さらに定常状態が得られるまでガルバノスタット、ボルタンメトリーまたはオープンサークル工程あるいはこれらの組み合わせを含む複数のシーケンスを経過させて所定の速度において作用電極を掃引することにより所定の工程のシーケンスを遂行し；(ここでその工程は

1、作用電極の表面を最適化し；

2、メッキ電流を測定するのに充分な時間、作用電極上で金属イオンをメッキし；

3、工程2においてメッキされた金属イオンを除去するのに充分な電位で、充分な時間の間、剥離し、さらに剥離電流を測定することを含む)；

c) 各浴について、上記工程2または3で通過した電荷量の有機成分濃度に対する検量線を作成し；

d) 未知の量の有機成分を有するメッキ浴試料を得て、その浴中に電極を配置し、さらに上記所定の工程のシーケンスを遂行し；さらに

e) 工程d)の結果を工程c)で得られた結果と比較して、未知試料中に存在する有機成分の量を決定する

ことを含む浴中の光沢剤の量を決定する方法。